






〈本体商品の取付情報〉

年 式	型 式	車 種	最大取付数		本 体 の 取 付 方 法						オプション	
			ト レ ード イ ン	ア ド オ ン	キ ット レ ス	取付キット使用			備 考	1D		2D
						型 番	主な付属品	希望小売価格 (税別)		46 サイズ		46 サイズ
H14/12~H17/10	GD6系 GD7系 GD8系 GD9系	2D窓口付車	2D		×	KJ-H32D II ㉑	 P	5,000円	注1,2	◎	◎	
		クラスター一体 ラジオ付車			×				注3,4	×	×	




- (注1) 取付キットに同梱のサイドブラケットとパネルをセットし、ガムテープなどでステレオに固定した後、クラスター窓口の表側から挿入し、サイドブラケットと純正ブラケットを共締めして取付けます。なお、共締めする際、ステレオ本体に付属のネジでは長さが届かない場合がありますが、その場合は取付キットに付属のネジなど（M5×8またはφ5×10タッピングネジ）を取付けるステレオに応じて使用します。但し、一部のステレオ本体には特定（長さやサイズなどが異なる）の取付ネジを使用するものがあり、その場合に長さが不足で届かない場合には、別途ネジを用意する必要があります。なお、使用するネジがステレオ本体およびその取付説明書に指定された長さ以上に入りすぎると、ステレオ本体の故障の原因になりますので、その場合は、適切な長さのネジを用意していただくか、別途ワッシャーなどで調整して取付ける必要があります。
- (注2) オーディオ部のセンタークラスターAss'yの脱着にはグローブボックスなどの取外しが必要となり、マニュアル/オートエアコン共に、センタークラスターに付いているエアコンスイッチのコントロールワイヤーの車両側との接続部（ダッシュ下側奥部）での脱着、および取付時のコントロールワイヤーの長さ調整などが必要で作業はやや大掛かりとなります。
- (注3) 純正ラジオはセンタークラスター一体のラジオで、窓口がないため取付不可。
- (注4) ディーラーオプションの「オーディオフェイスパネルキット（2D窓口クラスター）」（純正品番：08B00-SEL-A10……マニュアルエアコン用/08B00-SEL-B10……オートエアコン用）を購入すれば、KJ-H32D II ㉑使用で取付可となります（その場合の可否詳細については、上記の2D窓口付車の項をご覧ください）。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに 化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源（ACC、常時、イルミネーション）			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… ホンダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
	FMダイバーシティ アンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コードRD-AN33（2,000円、税別）を使用します。
	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) ……純正ステアリングリモコン付車でも、グレードや仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II ㉒（12,000円、税別）がシート取付ボルト部に取付可能です（車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II ㉒付属のロッドが使用できない場合もあります）。 (注) …… KW-27V II ㉒は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット						注記 B	ボックスタイプ						ユニットタイプ			サテライト		
			TS-V173S	TS-C1730S	TS-F1730S	TS-C1630S	TS-F1630S			TS-X480G	TS-X180	TS-E1796	TS-E1676	TS-E1396	TS-E1076	TS-G1030	TS-STH1100	TS-STH700	TS-STX510		
4セダン	標準SP付車	①	X	X	X	X	X		①					X	X	X	X				
	D.OPのSP付車	⑤	X	X	X	⊙⑦	⊙⑦		⑤					⊙⑧	X	X	X				
	キット全使用	③	⊙②	□②	□②	□⑥	□⑥														
	インナーバッフル	④	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙														
	Rトレイ	⑨	X	X	X⑮	X⑩	X⑩			X⑭	X⑭	X									
	キット使用	⑪⑫⑮	⊙⑬	□⑬	□⑬	□	□														

注記

- ① メーカー標準装備のスピーカーは、樹脂一体型のはめ込み取付けタイプです。
- ② ディーラーオプションのスピーカー付で取付アタッチメント（樹脂ブラケット）を使用して取付けている車種の場合は、純正取付アタッチメントを取外して取付ける。
- ③ カースピーカー取付キットUD-K112（希望小売価格3,000円、税別、2個1組）使用で可。端子を下方向にして取付ける。
- ④ インナーバッフルUD-K714（希望小売価格21,000円、税別、2個1組）／UD-K614（希望小売価格10,000円、税別、2個1組）／UD-K524（希望小売価格4,000円、税別、2個1組）使用で可。なお、バッフルは車両側取付用角穴（3ヶ所）の中心位置で固定し、端子を下方向にして取付ける。
- ⑤ ディーラーオプションの16cmスピーカー付車の場合で、純正取付アタッチメント（樹脂ブラケット）を使用して取付けている車種。
- ⑥ ディーラーオプションのスピーカー付で取付アタッチメント（樹脂ブラケット）を使用して取付けている車種の場合は、スピーカー取付キットは使用せずに純正取付アタッチメントに取付可。
- ⑦ 純正取付アタッチメントに取付可。端子を下方向にして取付ける。
- ⑧ 付属のグリルは使用せずに、ユニットのみを純正取付アタッチメントに取付ける。
- ⑨ 純正スピーカーは137mmピッチの3点止めで合わず不可。純正スピーカーなし車の場合はトレイにグリルは装着されていますが、スピーカー用配線と取付用のタッピンググロメットは付いていません。
- ⑩ 車両側鉄板の取付ネジ穴位置が外寄りになり、確実に固定できないため取付不可。
- ⑪ スズキ車用のカースピーカー取付キットUD-K115（希望小売価格3,000円、税別、2個1組）を使用すれば取付可となります（キットに付属のブラケットはクラック部3ヶ所を切取って使用します。但し、純正スピーカー付の場合は車両側のネジ穴位置と少しずれるため、ブラケットの穴を少し加工して取付けるか、または鉄板側の純正グロメットを取外し、キットに付属のコの字型取付金具を高さを調整して使用し、取付ける必要があります）。
- ⑫ 純正スピーカー付の場合に可で、純正スピーカーなし車の場合は車両にリアスピーカー用の配線（およびタッピンググロメットもなし）がないため取付不可。但し、純正ディーラーオプションの「リアスピーカー取付アタッチメント」（純正品番：08B38-SEL-A00……ハーネス、タッピンググロメット、取付ネジのセット）を購入すれば純正スピーカー付車の場合と同条件で取付可となります。
- ⑬ トレイのグリルに少し当たるが取付けは可。
- ⑭ リアトレイ上にスペースは可能ですが、純正スピーカーグリル上への取付けになるため取付不可。
- ⑮ TS-F1730S・F1730に付属の樹脂ブラケット、およびカースピーカー取付キットUD-K121は、トレイのグリルに干渉するため使用不可（別売のカースピーカー取付キットUD-K115使用で取付可）。

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

⊙	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	⊠	取付可（別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）	⊡	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
⊙	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	X	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

⊙	取付可	△	取付可（別売の「スぺーサー」使用）
●	取付可（鉄板加工が必要）	▲	取付可（別売の「スぺーサー」使用で、鉄板加工が必要）
○	取付可（スピーカーに付属のスぺーサー使用）	□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）
●	取付可（スピーカーに付属のスぺーサー使用で、鉄板加工が必要）	X	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(X)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		X	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。